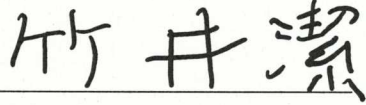


# 会 議 録

会議の名称	令和4年度第3回上尾市市民活動推進協議会 (令和4年度上尾市協働のまちづくり推進事業報告会)	
開催日時	令和5年3月23日(木) 午後1時30分～午後2時50分	
開催場所	上尾市市民活動支援センター及び各リモート環境	
議長(委員長・会長)氏名	竹井潔会長	
出席者(委員)氏名	竹井潔委員、若原幸範委員、伊藤昌人委員、丸山広子委員、 石井清二委員、清水さえ子委員	
欠席者(委員)氏名	西嶋秋人委員	
事務局(庶務担当)	山崎聡(市民活動支援センター所長)、山崎照正、菅谷良樹、井上枝里子、 大貫明美	
所管課担当者	高橋秀治(市民協働推進課)、岸名めぐみ(子ども家庭総合支援センター)、高木雅也(子ども支援課)、大丸順子(健康増進課)	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) 協働事業の報告及び事業評価について  ① 特定非営利活動法人ふれあいねっと ② 一般社団法人こどもとおとなのあそびとたいわ ③ 認定特定非営利活動法人彩の子ネットワーク ④ HAGURAMA上尾支部	「事業評価書」参照
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 1名
会議資料	・令和4年度 上尾市協働のまちづくり推進事業の事業報告書ファイル ①事業報告書 ②収支決算書 ③事業評価票(団体・所管課) ④その他参考資料	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。  2023年 4月15日		
議長(委員長・会長)の署名		
議長に代わる者の署名 (議長が欠けたときのみ)		_____

## 議事の経過

発 言 者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局	<p>本日は、お忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。            ただいまより第3回上尾市市民活動推進協議会を開催いたします。            本日は、今年度採択された4事業について、各団体および所管課からの事業報告があり、その後、第3次市民活動推進計画の進捗会議を行いたいと思います。皆様、ご協力をお願いいたします。            また、協働のまちづくり推進委員の皆様にも視聴参加いただいております。事業報告会終了予定が14時45分となりますが、ご参加よろしくお願ひします。</p> <p>会議に入る前に、お手元に資料の準備をお願いします。            前半の事業報告会で使用する資料として            ・第3回上尾市市民活動推進協議会 次第            ・令和4年度 上尾市協働のまちづくり推進事業の事業報告書ファイル            後半の推進協議会で使用する資料として            ・令和4年度 上尾市市民活動推進計画資料(進捗管理資料)            ・令和5年度 上尾市協働のまちづくり推進事業・募集要綱改正について            資料は以上4点です。</p> <p>はじめに、リモート会議の諸注意といたしまして、パソコン画面の写真を撮ったり、音声を録音したりすることがないようにご協力をお願いいたします。</p> <p>本日の会議はリモート会議ということで、委員の皆様にはリモート環境でご参加をいただいておりますが、B委員とE委員は、市民活動支援センターでの参加となります。これにより上尾市市民活動推進協議会条例第7条の2の「協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。」の要件を満たしていることを、ご報告いたします。            それでは、次第に沿いまして、これ以降の進行は、規定により会長にお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、私の方で進行してまいります。よろしくご協力をお願いいたします。            本日の会議は公開となっております。            事務局に確認しますが、本日傍聴希望者はありますか。</p>
事務局	<p>本日、傍聴者希望者1名おります。[傍聴にあたっての注意]は、事前に事務局から伝えてあります。</p>
会長	<p>それでは、次第の(2) 事業報告に入りたいと思います。進め方につきまして、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本日の事業報告会の進め方について、ご説明申し上げます。            このあと、事業を実施した4団体から報告を行っていただきます。報告の順番は、ファイルに綴じられている順番のとおりです。なお、最初の「特定非営利活動法人ふれあいねっと」さんにつきましては、リモート参加で、残りの3団体は、市民活動支援センターでの参加となります。所管課はすべてリモート参加となります。</p>



	<p>報告の順と割り振り時間につきましては、次第にありますように、「特定非営利活動法人ふれあいねっと」が 13 時 35 分から、1 事業あたり 15 分以内で進めていきたいと考えております。時間配分については、最初の 5 分は団体からの報告、次に所管課の報告を 3 分、質疑応答と講評を合わせて 5 分で進めたいと思います。</p> <p>タイムキーパーは事務局で行い、その都度合図をいたします。報告会后には、協議会がごさいますので時間厳守でお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、事業報告会を開始いたします。</p> <p>1 番目の「特定非営利活動法人ふれあいねっと」さん、事業報告を 5 分以内でお願いします。</p>
H さん	<p>「青空ひろば feat.music」事業について報告</p>
会長	<p>ありがとうございました。続きまして所管課の報告に移らせていただきます。市民協働推進課さん 3 分以内でお願いします。</p>
市民協働推進課	<p>所管課報告</p>
会長	<p>ありがとうございました。続きまして質疑応答に移らせていただきます。委員の皆様、何か質問がありましたらお願いします。</p>
A 委員	<p>活動していくうえで、自分から手を挙げて出演したいとか、子どもたちが自分から場づくりに参加したいとか、なかなか簡単に起こることはないと思うのですが、こういった動きにつながるような工夫とかコツがあれば教えてください。また、所管課への質問ですが、このような取り組みは非常に重要だと思います。同じような課題を抱えている地域は多いと思うのですが、他の地域にも広げていく考えがあるのか教えてください。</p>
H さん	<p>会場の方々とよく話をして、自分たちで作る場なので、出演者の希望も聞いています。どうすれば楽しいのかとか、どういうところが問題なのか、大人たちだけでなく子どもたちにも問いかけをしています。</p>
市民協働推進課	<p>ほかの地域でも同様の課題を抱えている自治会もありますが、ふれあいねっとさんみたいに大きくやっていただくのは難しいと思います。しかし、団体や自治会がやりたいという話があれば、積極的にバックアップしていきたいと考えています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、講評に移ります。B 委員に講評をお願いします。</p>
B 委員	<p>小中学生の第 3 の居場所、コロナ禍の自粛生活でのフレイル対策については、「青空ひろば」が 2 年目の事業ということで With コロナでの活動が見えてきたのかなと感じます。小中学生が活動の手伝いにきてくれるとか、音楽をメインにして参加者が増えたとか文化が構築していく過程が見えてきたのが良かったと思います。コロナの中、これだけの事業ができたのは素晴らしいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、次の団体「一般社団法人こどもとおとなのあそびとたいわ」さん、事業報告を 5 分以内でお願いします。</p>

Tさん	「止まり木@アトリエコルト」事業について報告
会長	ありがとうございました。続きまして所管課の報告に移らせていただきます。子ども家庭総合支援センターさん3分以内でお願いします。
子ども家庭総合支援センター 会長	所管課報告  ありがとうございました。続きまして質疑応答に移らせていただきます。委員の皆様、何か質問がありましたらお願いします。
C委員	講師謝礼の決算額が予算額と比べ減っていますが、なぜですか。
Tさん	パネリストの1名の方が謝礼を辞退されたので減っています。
A委員	父親カフェの参加者延べ人数16人と出ていますが、1回あたりの参加者はどのくらいですか。またどんな話題や意見がでたのか教えてください。
Tさん	1回あたりの人数は3人だったり5人だったり少ないですが、何回か回数をやっていますので、その延べ人数になっています。不登校の子を持つ父親の立場からいうと、「就職できるのか」とか「この先大丈夫なのか」といった不安から、つい子どもに厳しく接してしまったという話が多かったです。母親の方が今の子供の様子を細かく見ているので、「うちの子は休養が必要」と理解しやすいのですが、父親は母親より接する機会が少ないので、子どもに対して運動だったり勉強だったり成果に目がいって休養ということを受け入れがたいところもあるようです。父親カフェで同じ経験をもつ父親からの経験談などを聞くうちに、見守ることも大切と理解していくようになったということもあります。
会長	ありがとうございました。それではA委員に講評をいただきたいと思います。お願いします。
A委員	不登校児の支援はもとより保護者の支援ができたことがとても重要で、本事業は期待通りのすばらしい取り組みであったと思います。その中でも不登校の子どもを持つ父親同士が話し合う機会をつくったことはとても良かったと思います。父親というのは、子育ての喜びを含めて悩みなども語り合う機会を持つことがなかなかできない中で、本事業は貴重な取り組みであったと評価します。
会長	ありがとうございました。それでは、次の団体「認定特定非営利活動法人彩の子ネットワーク」さん、事業報告を5分以内でお願いします。
Sさん	「子ども服交歓会で子育て支援のまちづくり事業」について報告
会長	ありがとうございました。続きまして所管課の報告に移らせていただきます。子ども支援課さん3分以内でお願いします。
子ども支援課 会長	所管課報告  ありがとうございました。続きまして質疑応答に移らせていただきます。委員の皆様、何か質問がありましたらお願いします。



会長	それでは D 委員に講評をいただきたいと思います。お願いします。
D 委員	子育て支援を中心に子どもの貧困、孤立防止、更には SDGs の視点からも大切な活動をきちんと計画的に着実に実行されたと感じました。また、市民の幅広い年齢層の方、職業の違う方の参加を得られて、銀行、企業、更には大学とのコラボなど産学官の連携が展開された素晴らしい事業だったと思いました。
会長	ありがとうございました。それでは、次の団体「HAGURUMA 上尾支部」さん、事業報告を 5 分以内でお願いします。
K さん	「理学療法士によるウィメンズヘルスケア」事業について報告
会長	ありがとうございました。続きまして所管課の報告に移らせていただきます。健康増進課さん 3 分以内でお願いします。
健康増進課	所管課報告
会長	ありがとうございました。続きまして質疑応答に移らせていただきます。委員の皆様、何か質問がありましたらお願いします。
会長	それでは C 委員に講評をいただきたいと思います。お願いします。
C 委員	アンケートでは、体の不調を相談できなかった人の多さに驚きました。今は出産年齢が高くなっていることで、出産と更年期の時期が近くなっているということもあると思います。そのサイクルは女性にとっても非常に大変な時期になっていると思います。こういう状況にあつての今回の協働は非常に有意義な事業だったと考えます。ただ、実際には受けられる人が限られていると思うので、夫や家族など身近な人にこうしたことを知ってもらふフォローアップも必要だと思います。また、働く女性を対象にした講座など、ぜひ新しい試みも加えながら事業を継続して行ってほしいと思います。
会長	以上で令和 4 年度 上尾市協働のまちづくり推進事業に採択された 4 事業の報告会が終了しました。進行を事務局に返します。
事務局	委員の皆様、ありがとうございました。最後に会長から総評を頂きたいと思います。会長、よろしくお願いします。
会長	<p><b>【総評】</b></p> <p>令和 4 年度の上尾市協働まちづくり推進事業は 4 事業が実施されました。今年度もコロナ禍において事業を推進することは、様々な配慮が必要であったと思います。それぞれの団体が様々な困難を乗り越えて創意工夫しながら協働事業を無事に推進できたことは、高く評価したいと思います。「NPO 法人ふれあいねっと」の「青空ひろば feat.music」事業、「認定 NPO 法人 彩の子ネットワーク」は昨年度から引き続き、また新たに「一般社団法人こどもとおとなのあそびとたいわ」の「街の止まり木@アトリエコルト」、「HAGURUMA 上尾支部」の「理学療法士によるウィメンズヘルスケア事業」が実施されました。地域に住む小中学生の居場所づくり、コロナ禍の自粛生活によるフレイル対策、不登校の子どもたちの居場所づくり、子ども服交歓会による子育て支援、そして女性のヘルスケアといった取り組んできた内容は、いずれもニーズの高い、時機を得た</p>



テーマであったと思います。

「青空ひろば feat.music」は、特に音楽を中心として、地域の人たちの積極的、主体的な参加があり、新たな出会いと交流、活気が地域に根付いてきたことが伺われます。多くの演奏希望者がいたという事は、地域に良い文化的な交流の場が与えられたと感じています。今後も引き続き活動拠点を確保しながら、継続的に魅力的な事業を展開していただきたいと思います。

「子ども服交歓会で子育て支援のまちづくり事業」は、多くのボランティアの協力をもとに事業が推進できたことは、非常に評価ができると思います。特に埼玉りそな銀行における SDGs の一環として協働に取り組んだり、聖学院大学の学園祭で子ども服交歓会を実施したりするなど、協働事業を積極的に行えたことに活動の広がりを感じることができました。引き続きみなで子育ての地域づくりを目指して、協働の輪を広げながら継続的な活動を期待したいと思います。

「街の止まり木@アトリエコルト」は、不登校の子どもたちの居場所づくりや保護者の交流の機会をつくるため様々な活動を行って、同じ境遇の人との交流の場を作って活動を進めました。様々な事情で学校に行けない子どもたちに寄り添って居場所を作るという事は非常に有意義な取り組みであると感じます。今後も地域社会の理解を深め連携しながら事業を継続していただきたいと思います。

「理学療法士によるウィメンズヘルスケア事業」は、理学療法士と作業療法士の視点からそれぞれの対象に向けてヘルスケア講座を実施し、アンケートの結果も高い満足度であったことから、今回の取り組みが女性のヘルスケア支援において効果的であったと評価します。また、専門家による指導ができたという事が非常に貴重だと感じました。今後も事業の継続を期待しています。

今年度実施された 4 事業はいずれも、それぞれの特徴をいかして補助金交付額を有効に使いながら事業を進めてきたと思います。今後も関係者と協働しながら継続的な活動を続けていっていただきたい。また、補助金交付がなくなったあと、いかに事業を続けていくかということも検討していただきたいと思います。今後、新型コロナウイルスの感染症は 5 類に引き下げられますが、引き続き市民の安全、安心に配慮し、適切な判断をしながら創意工夫をもって市民活動を行っていただきたいと思います。

事務局

会長ありがとうございました。これで、令和 4 年度 上尾市協働のまちづくり推進事業報告会を終了させていただきます。

このあと、5分の休憩をはさみまして、第3次市民活動推進計画の進捗会議を行いたいと思います。

協働のまちづくり推進委員の方は、報告会が終わりましたので各自退出をお願いします。推進委員の職員の皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。

以上